

大鹿村議会だより

第47号
令和5年10月号

令和5年10月15日 発行：大鹿村議会

令和5年9月

大鹿村議会9月定例会

令和5年9月大鹿村議会定例会が9月8日から20日までの13日間の会期で開会されました。今定例会に提案された議案等は、報告1件、付議事件14件で、すべて原案どおり認定・可決されました。請願・陳情は陳情1件で、継続審査となりました。

報告

報告第1号 令和4年度決算に基づく健全化比率の報告について
▼実質赤字比率、連結実質赤字比率とも該当なく、実質公債費比率は1.3%、将来負担比率も該当なく健全です。

付議事件

議案第1号 大鹿村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号 令和4年度大鹿村一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第3号 令和4年度大鹿村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第4号 令和4年度大鹿村立診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第5号 令和4年度大鹿村営水道特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第6号 令和4年度大鹿村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第7号 令和4年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

別会計歳入歳出決算の認定について
▼令和4年度の決算について詳細は「広報おとしか」をご覧ください。
議案第8号 令和5年度大鹿村一般会計補正予算(第3号)について
▼林道釜沢線復旧事業に係る皆減、物価高騰対策補助金、鹿塩地区館改修工事の増額、落合の防犯灯を光害対策型とする増額等々。
議案第9号 令和5年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
議案第10号 令和5年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第2号)について
議案第11号 令和5年度大鹿村介護保険特別会計補正予算(第1号)について
議案第12号 令和5年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

議案第13号 令和5年度大鹿村簡易水道事業会計補正予算(第2号)について
議案第14号 建設工事請負契約の締結について
▼下青木地区の学校教職員住宅建設事業1億3750万円です。
陳情
1「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書
▼マイナ保険証に代わる資格確認書の有効期限など、国の動向を見て審査したいとの意見があり、全会一致で継続審査となりました。
総務社教常任委員会
▼大鹿村DX推進計画案の説明があり、まずは総務課の勤怠管理、遠隔会議が今回予算化されています。



伊波ゆかり議員

大鹿保育所の保育士不足解消に向けて

質問 大鹿保育所の職員

体制は正職員1名、再任用を含む非正規雇用の方

3名が常勤で、他にパート

の方数名で運営しており、

園児は未満児4名、それ

以上の園児16名と、現在

20名が在籍。定員は30

名だが、保育士不足により、

未満児はこれ以上受け入れられない状況に

あるそうだ。職員1名が退職し、

職員募集が難航。もう一人

欠員が出たら休所しなくてはならなくな

ると伺った。この状況を村長は

どうお考えか。

村長 保育士の募集に

関して、「月刊いいだ」などの

メディアや飯田短期

大学と連携して行っており、

保育補助員の増員もできる

限り行っていくます。さらに、

クラスの複式化や、担任の複

数化により、柔軟性を確保し

たり、保育事業システム

のデジタル化などを通じて、

保育士の就労環境の改善

には努めております。

質問 保健師のように南

信州圏域での共同採用試

験を実施し、広域で保育

士を募集したり、SNS

を利用したりするなど、も

っと積極的な募集を。

村長 共同募集を、村と

して要望していきます。

縁故採用で、皆さんの

知人等で、大鹿村へ来て

もいいよという保育士の方

がおられれば、大歓迎

です。SNSでも、拡散

していただければと思い

ます。

質問 既に年度途中で未

満児数名の入所希望者

が、断られたと伺ったが。

村長 年度途中で入園を

希望される保護者の皆さん

には大変申し訳なく、と

ても残念なことであると思

っています。

質問 大鹿村第五次総合

振興計画の中で、「移住

定住を促進する」と、う

たっているが、このまま

では、幼児のいるご家族

からは大鹿村を移住先と

して選んでもらえなくな

るのでは？

村長 保育所の受け入れ

体制の拡充は必要なこと

と考え、とにかく保育士

を確保することにより克

服していきます。

質問 資格があっても現

在保育士として働いてい

ない潜在保育士のニーズ

を調査したり、処遇を改

善したりするなど、抜本

的な対策が必要なのは？

村長 各市町村共通の課

題ですので、広域的な取

り組みの中で、検討した

いと思っています。

また、処遇改善もしつ

かり努めたいと思います。



秋山光夫議員

国道152号線改良について

質問 通称小渋線はリニ

ア関係の改良工事です

ます良くなっているが、

国道152号線は分杭も地

蔵も冬季は通行止めだし、

地蔵峠は崩落のため通行

止めが数年続いている。

分杭峠から村中心部へ

の道は、春から秋まで観

光や生活道路として活用

されているが、現状は道

路両側から雑草が繁茂、

雑木も横枝を伸ばし、通

行する車に当たる所も多

く、危険箇所も見づらく

なっている。早急な改善

が必要と思うが、村長は

どうお考えか。

村長 国道152号につ

いては現道の復旧工事と

併せ、トンネル化による

正規の国道としての整備

を求める二通りの方法で、

国、県に対して提言活動を

継続的に行っています。

現道の復旧に向けては、

飯田市長とともに、9月

5日に長野市の林野庁中

部森林管理局、7日に東京

の林野庁本庁に行き、復

旧治山事業を強力に進め

ていただくよう提言要望

を行ったところです。

トンネル化について

も、提言要望活動により、

県において今後5年間で

調査を行う箇所として今

年度初めて位置付けられ

たところです。

分杭峠前後の区間も、

県において順次拡幅改良

や安全対策工事を進めて

います。通年通行の実現

と併せ、継続的に提言要

望活動を行うとともに、

上下伊那の建設事務所と

連携して冬季間通行止め

の期間を少しでも短縮で

きるよう対応してまいり

ます。

雑木の処理等について

も、道路管理者である県

道にお願いしています。

また、処遇改善もしつ

かり努めたいと思います。

また、処遇改善もしつ

かり努めたいと思います。

また、処遇改善もしつ

との情報共有をしてまいりますので、具体的な箇所を挙げてご指摘をいただきたいと思います。

質問 村民や議員が直接

飯田建設事務所に要望した方が効果的だと言われて先日電話を入れたが、改善の手は入っていない。

官民一体で要望活動を

強力に進めていかなければ難しいと思う。

村長 官は官で、もちろん

村でもしっかりとやっていきますが、行政だけでなく、やはり住民の皆さんからの声が一番強く届きます。

管理者の県にも予算等あり、計画的に順次作業をして

てはいますが、言っているのと伺っています。すぐにはいいかと思

質問 先日、村民の方

から非常に細かく改良要望を書いた紙を渡された。村民から見ると、官があまり動いていないという印象が非常に強い。

村長 しつかり対応してまいります。



加藤哲夫議員

資材運搬ボランティアを募集した鳥倉登山道の整備事業の経過と今後の予定は？

質問 この夏の塩見岳登

山レポートを見ると木の栈道がひどい状況にあることがうかがい知れた。

そんな折、鳥倉登山道資材運搬ボランティアの募

集があり、登山道補修資材の運搬が行われた。ボ

ランティアによる作業は継続して行えば、大鹿村

をより深く知ってもらえたり、登山観光に従事す

る人材が得られる利点がある。今回の鳥倉登山道

整備の状況と、今後の作業についてお聞かせいただきたい。

村長 去る8月29日、役

場の若手職員以外に、一般の山愛好家の皆さんを

対象に資材運搬のボランティアを募集して、登山道の整備作業を行いました。過去には、村が積極的に登山道整備に携わること

は、方針として行ってきました。方針として行ってきた。南アルプスを初めとする登山は、大鹿村にとって魅力的な観光資源であり、

持続的な村づくりを行っていく上で欠かせない要素との認識を持ち、村と

して積極的に取り組みを進めることを重要な施策の一つとしています。

今回は試験的な試みで、ボランティア募集もあまり

り広く周知せずに行いましたが、今後は持続的に登山道整備を行っていく体制

作りができるよう、あり方を検討しながら進めて

いきたいと考えています。

赤石岳小渋ルート整備の見込みは？

質問 もう一つの登山口

の赤石岳小渋ルートは、集中豪雨により村道が寸

断され、車では湯折ゲート登山口まで行けない状況だ。せめて徒歩で安全に行けるよう整備することが望まれる。また、

南アルプス登山推進委員会はいつスタート？登山口アクセスの検討が必要では？

質問 大鹿村第五次総合

振興計画中の南アルプス登山推進委員会を速やかに組織していただきたい。

登山口へのアクセスは再考の余地があるのではない

か。マイカー乗り入れを制限し、バスで登山口へというのも一つのアイ

デアだと思う。登山の前後に宿泊施設や商業施設をよ

り多く利用してもらうために、アクセスについ

て村長はいかがお考えか。

村長 推進委員会は昨年度立ち上げる意向でしたが、コロナ感染症や災害復

旧への対応等で新規事業になかなか着手できませんでした。今年度再度予算計上して、秋ごろをめどに

立ち上げたいと考え、現在準備を進めています。

南アルプスに限らず、大西山など近くの里山も含めての登山推進を考えています。幅広い意見を集めるために、委員の公募等も考えています。

登山口の駐車場整備やマイカー対策、村内への経済効果等については、ご指摘のとおりだと思います。登山推進に向けた環境整備というのは、将来の登山客増加を見込んで受け入れ体制をつくっていくということだと思います。登山バスや村運営のシャトルバスの積極的な運行を主軸として、村民の皆さんの生活や経済に最大限のメリットとなるよう、しっかりと制度設計していく必要があります。委員会を中心に協議を進めてまいります。

これをきっかけとして、村内外の登山愛好家によるサポート体制作り、登山推進に寄与していただける人材確保や育成に繋げたいと考えています。



松澤武裕議員

診療所医師の契約期間と更新について

質問

保健福祉課長にお

聞きしたところ、大鹿診療所の先生の契約期間はあと1年半ほどあるそうだが、高齢者の方々がいつまで契約があるのかと心配されている。1年半といっても、すぐに時間が過ぎてしまう。契約更新ができればいいが、新規の採用となれば時間がかかる。村民の方々に安心していただけるよう周知をお願いしたい。

また、先生の採用時点で日赤病院の診療が一段落した場合には診療所のみで診察していただけるといふ説明があったとお聞きしている。そのことについてもお聞きしたい。

村長

議員がおっしゃられた通り、現在大鹿診療所医師として来ていただいている網野先生の契約期間は令和7年3月31日までとなっています。曜日ごとに午前、午後と交互に入れ替えながら外来診療を行っていたのですが、受診者数も少なすぎず多すぎずで、ちょうどいい体制が取れているのではないかと認識しています。

日赤病院の方が一段落すればということですが、日赤病院もお医者さんがなかなか足りない厳しい状況であるとお伺いしています。そちらを完全にやめて大鹿診療所だけに専念というわけにはなかなかいかないのかなと判断しています。

今、下伊那赤十字病院と大鹿診療所との連携もしっかり取れている状況なので、現状ではいい状況が続いていると私としては思っているところです。

〈傍聴体験録〉

A・T

先日、初めて村議会の一般質問を傍聴しました。知り合いに村議がいるので、どんなことをしているのか興味があったのがきっかけでした。質問の内容はどれも自分たちの暮らしに関わることであったのでわかりやすく、理解できたのでホッとしました。議員が困っている人たちから聞き取りをして、行政がどう関わっているかチェックしたり、解決策を村に提案してくれていることを知り、自分も疑問や困りごとが出たら議員に相談してみようと思いました。身近に村に掛け合ってくれる議員がいることは、人口の少ない村に住むメリットでもあります。平日午前中ということもあり、傍聴に来ている人は少なく、議会への関心の薄さも感じました。行けなくても見たい人はいると思うので、インターネットで中継するなどできたらいいと思いました。

議会懇談会を開催します！

11月18日（土）午後3時～ 交流センター

令和7年の契約満了時には、先生の更新へのご意思や体調の面など、いろいろありますし、また新しい医師確保のつてがあるかなど、状況をよく見極めながら検討、判断をしていくことになるかと思えます。新しい医師の確保については、短期間ですぐに見つかるものではないと思います。

で、時間的な余裕をしっかりと持って探していきたいと考えています。いずれにしても、現在の医師の先生のお考え等をしっかりと伺った上で対応していきたいと思っております。また、村民の皆さんにもしっかりと周知をしていくべきだと、おっしゃるとおりだと考えております。